

(前ページより続き)

そのわずか2年後にアメリカ経済社会を襲った空前絶後のパニック、あのときロータリアンは、一人も倒産していないのです。

それは1910年頃からロータリークラブにおける発想の交換、アイディアの交換の場で、いろいろなアイディアを交換しながら、ロータリーの企業管理論ともいべき(まだ当時は職業奉仕という言葉はありません)原理を開発し、それをロータリアン自身自身の企業に実践しながら強靱な体質の企業を作り上げていった、その功德、職業奉仕実践の功德によって、あのパニックを切り抜けることができたのです。

しかも自分たちだけが生き延びたのではなく、パニックに敗れていった敗者の代弁者になって、経済復興に尽力したということが、ロータリーの奉仕の一つの眼目であるということをお願いしたいのです。

今、ロータリーの世界を職業奉仕理解の視点から見るかぎり、あまりにも暗すぎると思います。あの文豪ゲーテがこの世を去る臨終の言葉に、「暗すぎる。もっと光を」と言ったそうです。私は、「ロータリーにもっとロータリーを」と言いたいのです。

私の意のあるところをお汲み取りいただければ幸いです。(終)

■ポール・ハリス語録 「過ぎし時に敬意を表して」

事業の実践方法には著しい変化がありました。

ロータリーの強い影響が感じられるのはこの分野です。

昔は、実業家は一つのこと、金儲けしか考えませんでした。

今日、実業家は、顧客、従業員、同業者、仕入先、一般の人々に対して公正でなければなりません。時代は、事業にどれほどの力量があるかと挑戦しているのです。

事業はその挑戦を堂々と受けたのです。 This Rotarian Age

ロータリーの会員になるということは、同時に、ロータリアンとして掲げる理想と規範を、自分の同業組合の中にもちこむという責任を負うことです。

この点を見落としてはなりません。

ロータリアンは、ロータリーの理想と規範を同業者すべてに理解させ、受け入れさせるよう努力しなければなりません。 My Road to Rotary

ロータリーの行動規範 ロータリアンとして、私は以下のように行動する。

1. 個人として、また事業において、高潔さと高い倫理基準をもって行動する。
2. 取引のすべてにおいて公正に努め、相手とその職業に対して尊重の念をもって接する。
3. 自分の職業スキルを生かして、若い人びとを導き、特別なニーズを抱える人びとを助け、地域社会や世界中の人びとの生活の質を高める。
4. ロータリーやほかのロータリアンの評判を落とすような言動は避ける。
5. 事業や職業における特典を、ほかのロータリアンに求めない。

週

報

インスピレーションになろう

Be the inspiration

バリー・ラシン

2018-19年度 国際ロータリー会長



第2710号

平成31年
1月15日
2019年
JAN

第2834回例会報告

例会記録・予定

出席報告

会 員 数	81名
出 席 計 算 会 員	80名
出 席	28名
欠 席	52名
出 席 率	35.00%
訂 正 出 席 率	61.25%

出席免除会員名 松元

欠席会員名 親泊、新本、與座、森、上原(義)、中村、比嘉、東川平(靖)、梶原、吉村、新垣(豊)、長山、平良(修)、鈴木、杉本、三反園、長嶺(善)、保田盛、喜屋武、許田、國吉、伊志嶺、具志堅、今福、渡辺、下石、新垣(安)、朱、宜保、吉岡、井手上、白石、上原(進)、与那覇、上原(修)、真栄城、新垣(竜)、安里(繁)、長嶺(国)、傍田、前原、川井田、藤井、赤嶺、本多、桑野、堀川、今西、下地、佐久本、相良、高津。

ゲスト・スピーカー

浅雄一氏(株)ナノ・アソシエイツ

代表取締役

ゲスト

鈴木 健介氏(新垣 淑典 会員ご紹介)

☆プログラム

1月22日(火)「職場訪問」

傍田 賢治 会員 職場(NHK 沖縄放送局)

那覇市おもろまち2-6-21 TEL865-3602

*当日のスケジュール 現地集合 11:30~TV 生放送
見学→施設内見学→12:30 例会(お弁当をご準備しております)→閉会 13:00(予定)

1月29日(火)

「イニシエーション・スピーチ」

(株)北谷スポーツセンター代表者 米須義明 会員

2月5日(火)「演題未定」

リクルートライフスタイル沖縄

代表取締役社長 有木 真理 様

2月12日(火)

創立60周年記念講演会・式典・祝賀会

於:ロワジュールホテル那覇3階「天妃の間」

2/19(火)→2/21(木)13:00点鐘

「地区大会」へ振替 於:ホテルニューオータニ

那覇ロータリークラブ

事務局 那覇市西3-6-1(パシフィックホテル沖縄1階) TEL 868-1224 FAX 861-4918

E-mail アドレス naha-rc@ml.cosmos.ne.jp HP アドレス: <http://naha-rc.org/>

会長 山城 博美 副会長/クラブ奉仕委員長/会長エレクト 上原義信 副会長/クラブカウンセラー 亀川 榮一

幹事 松島 寛和 クラブ会報委員長 松元 剛 副委員長 井手上 功 委員 今福 吉和

■ニコニコBOX(*^*)



一月のお誕生日
おめでとう
ます

ありがとうございます。

山城 博美 会長 浅社長による「サステナブル・イマイユ」の卓話に感謝して。ニコニコ。

■幹事報告 松島 寛和 幹事

*「第1回 RYLA セミナー」参加のお願い

本年度第 2580 地区において初めての「RYLA セミナー」が開催されるにあたり、ロータリアンの皆様にはご理解とご支援を賜り感謝申し上げます。初年度は「心にふれ合う」をテーマに、自分自身を見つめなおし、いろいろな方々との触れ合いを通し、リーダーシップに必要な資質の向上を目指しております。是非、より多くのロータリアンの皆様に RYLA をご理解頂きたくクラブメンバー皆様お誘い合わせの上、ご参加をお願い申し上げます。また受講生におきましては、スポンサークラブのロータリアンの応援は大きな励ましにもつながりますので、多くの会員の方にご参加いただけることを重ねてお願い申し上げます。

《第1回 RYLA セミナー》

日時：2019年3月1日（金）～3日（日）2泊3日
場所：沖縄県玉城青少年の家（沖縄県南城市玉城字玉城420番地）TEL 098-948-1513

参加費用：セミナー参加料5,000円（1日～3日まで）

夕食1日目 歓迎夕食会（ユインチホテル）¥8,000

2日目 BBQ（玉城青少年の家）¥2,000

登録のみの場合（登録料）¥2,000

締切：2019年2月8日厳守（すべて参加¥15,000）

***3/2（土）13:30～17:10 ロータリアン向けの講演会が開催されます。是非ご出席をお願い致します。**

■特別会計 2018～2019年度 ニコニコBOX

本日のニコニコ BOX	¥4,000
ニコニコ BOX 累計	¥281,000

■会長報告 山城 博美 会長

*1月は職業奉仕月間です。来週の職場訪問につきましては、後ほど湧川職業奉仕委員長よりお話があるかと思っております。

*本日の卓話を愉しみにしております。浅社長どうぞよろしくお願い致します。

■職場訪問について 湧川 祐一 職業奉仕委員長



す。守分生 N
で開放 H
お始送 K
願いです。沖
致し時間一
しま厳十
ま

11:30～TV 生放送見学→施設内見学→例会（お弁当をご準備しております）→閉会 13:00（予定）

*ハンブルグ国際大会及びガバナーズナイト

ご案内の通り 2019年6月1日～5日ドイツ・ハンブルグにおいて国際大会が開催されます。

ロータリーの国際性、多様性、規模を肌で感じるロータリー最大のイベントです。多くの皆様のご登録をお待ちしております。また、2019年6月2日（日）19時より国際ロータリー第2790地区、第2580地区合同による「ガバナーズナイト」を企画いたしました。今年度、北ヨーロッパ1位に輝いた名門ホテルでの華やかな正餐となります。是非とも皆様のご参加をお待ちしております。

記

日時：2019年6月2日（日）19:00～21:30 頃迄
会場：フェアモントホテル・ハンブルグ

Fairmont Hotel Vier Jahreszeiten Neuer

Jungfernstieg 9-14, 20354 Hamburg, Germany

<https://jp.lhw.com/hotel/Fairmont-Hotel-Vier-Jahreszeiten-Hamburg-Germany>

会費：お一人25,000円（飲み物代を含む）日本での事前支払いとなります。カクテルパーティーの後、着席フルコース。飲み物付き。

【注】なお会場の設営上、席に限りがございますので130名の先着順とさせていただきます。

*クラブ事務局へ会費を添えてお申込み下さい。

■「1月・職業奉仕月間」に因んで 「弱者救済は本来ではない」

RID2680 田中 毅 PG（尼崎西 RC）職業奉仕講演集Ⅲ<RID2680 あわじ中央 RC/HP より>

元来、弱者を救済することは、国家または地方自治体の責務です。

「ロータリーは奉仕という美名のもとに、行政の仕事を請け負うのか」という意見もあったのです。弱者救済は悪いことではない。行政の手の届かないところはロータリアンが善意をもって、助けていかなければならないのですが、それをもってロータリーの奉仕だと考えてはなりません。ロータリアンでないといけない奉仕というものがある。

それは職業を通じて、職業人として、世のため人のために役立っていく。

その抽象的なあり方を示すものが、実は職業奉仕であるということ、我々の先達は説いていたわけです。このようにロータリーが、同業組合育成運動や商工会議所の復興運動によって、アメリカ経済社会を復興させていったということ、我々は忘れることができません。次の問題は、下請関係です。アダム・スミスが“Wealth of Nation”「国富論」を著しました。その第1章は、“Division of Labor”「分業」です。人間は資本主義社会を発展させるために分業に分業を重ねてきたのです。

今日どの業界も下請を使わない企業はまずないだろうと思います。分業に分業を重ねて、沢山の下請を使う、孫請を使う。そのときにロータリアンは、下請の関係、孫請の関係をいかに処理するか、どのようにして自分の行動に愛情を込めていくのか、と言う問題です。結論だけ申し上げます。まず第1は、利潤の適正分配です。

それから第2は、賄賂の禁止です。力の弱いものは、どうしても力の強いものに対して賄賂を使うこととなります。先ほどの日本の二代目ガバナー井坂孝は、「ロータリアンたるもの賄賂を贈ることなかれ」と説いています。贈ってはならないものであれば、貰うのはいいのかというと、貰う方もいけないのであります。自分だけが賄賂を使って、取引を成功させようとする。これはエゴイズムの世界でして、世のため人のためにならない。したがって、ロータリアンは、賄賂を絶対に使ってはならない。それは資本主義社会の自由競争の公正さを害することになり、ひいては、世のため人のためにはならないからであります。これは下請関係の問題です。それから最後にロータリアン自身自身の企業をどのように管理するかの問題があります。

ロータリーは、どのような不況期にも絶対に倒産しない強靱な体質の企業を作り上げるには、どのようにすればいいのか、という原理を説いています。結論だけ申します。第1に、経理の公開。第2に、適正賃金。第3に、従業員の自主管理権の確立。第4に、人間関係（human relation）。この四つの項目について、ロータリーは、こと細かく分析しています。以上がロータリーの職業奉仕論のあらかたのところ、いずれに致しましても、このようなロータリーの職業奉仕の原理というものをロータリアン自身自身が、ひたすらに実践していくことによって、強靱な体質の企業に作り上げていくことはまず間違いありません。そして、どのような不況期になっても絶対に倒産しないであろうといわれています。そんな証拠がどこにあるのか。職業奉仕という言葉ができたのは1927年です。（次ページへ）